



さわやかな秋晴れの日が続いております。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。先日の参観日に道徳の授業を見ていただきお世話になりました。参観後の感想やご家庭で話し合ったことを書いてくださり、学校に持たせていただいたこと、大変感謝いたします。学校で学習したことを、家庭に持ち帰り、保護者を交えてまた考えることは、子供たちにとって、いろいろな考えを知る大切な機会だと思います。ご協力ありがとうございました。

5年生 稲刈り

国府ロマン保全隊の皆様のご協力のおかげで、5月に5年生が植えた稲はすくすくと育ちました。9月に入ると、黄金色に稲穂が風になびくようになりました。そして、9月11日(月)ついに、5年生の児童が稲刈りを体験しました。国府ロマン保全隊の方々刈り取る時に気を付ける事等を教えてもらいながら行いました。

最初は、恐る恐る鎌を使っていましたが、慣れてくると上手に鎌を使えるようになってきました。みんなで協力して刈り取る場面も見られました。刈り取った稲をコンバインまで運び、脱穀をしました。5年生が調理実習でお米の炊き方の学習に使用したり、バザーで販売したりするため、乾燥させ精米していただきます。ありがたいことです。

最初はなかなか刈れなかったけれど、だんだん上手になってきたこと。そして、一つの作業をするのに、みんなで協力することで、たくさんのができたこと。また、コンバインまで稲を運ぶときに、腕にかかえられないぐらい持って行くと、稲を受け取ってくださる方のことや、せっかく刈った稲をたくさん落としてしまうことを考えて、どのくらいの量を1回に運んだらいいのかを、経験するなかで学んでいったことなど、たくさんを学んだと思います。運ぶときに落ちた稲穂を、一つ一つみんなで協力して拾っていたことも素敵なことだと感じました。また、保全隊の方々とコミュニケーションをとりながら活動することで学びが深まったと思います。

子供たちの感想は、

- *一人ではできないけれど、みんなで協力することができた。
- *お米を作ることの大変さがよく分かった。
- *お米を作ってくださる方に感謝。

など、それぞれの子供たちが、体験することで心を動かすことができたのではないかと思います。

このように、国府小学校の子供たちのために体験活動をさせていただいたこと、本当にありがとうございました。



避難訓練

地震が起きて運動場に避難をする訓練を行いました。揺れている時は、自分の体を守るように机の下などに入り、頭を守ります。

地震はいつ起こるか分かりません。学校にいるときに起こるとも限りません。30年以内に南海トラフ沖地震が起きると言われています。

- ・「地震はいつあるか分からない」と思って準備しておくこと。
- ・自分の住んでいる地域の危険性を知って、地震が起きたときは、状況を正しく知って、自分で判断し適切な行動を素早くすること。
- ・「自分の命は自分で守ること」が基本であると話をしました。

最近、いろいろな所で地震が起きています。いつ、自分が住んでいる地域に地震が発生するか分かりません。少しでも被害が少なくなるように訓練しています。ご家庭でも、もし地震があった時、お家で？外に出かけているとき？子供一人である時？など話し合いをしておいてください。お家の近くの避難場所も確認しておくのもいいかと思います。



きらりんタイム

1学期も行ったきらりんタイムを9月も行いました。異なる学年の児童同士が楽しく触れあったり、協力して活動に取り組んだりすることで、思いやりの気持ちや親切にする態度を学ぶ場として設定しています。

上学年と下学年で行いますが、小さい子がカードをめくり終わるまで、ずっと見ていてくれる高学年や、お互いに顔を見合わせて、ニコニコしている光景を見ると、とてもほのぼのして、うれしくなりました。いろいろな学年と交流をして、笑顔の輪を広げていって欲しいと思います。



きらりさん 発見



2年4組の児童が、手洗い場の床を磨いてくれていました。みんなが使うところをきれいにしてくれて気持ちよくなりました。ありがとう。

ちょっと一言

「読書の秋」「灯火親しむころ」ともいわれ、本当にしのぎやすい季節になりました。ちょうど、読書の習慣をつけるのにもっともよい時期です。心を育てる意味でも、学習の基礎である“読む力”を育てる意味でも、読書はとても大切です。この機会に、自分の好きな本と出会い、進んで、読書をする力を身につけてほしいと思っています。学級文庫・学校図書室・図書館等いろいろなところを活用し素敵な本に出会って欲しいです。保護者の皆様も、子供と一緒に読書タイムを楽しんでみてはいかがでしょうか。

